



# おきぎん経済研究所

NEWS RELEASE

“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

2011年12月28日

各位

株式会社 おきぎん経済研究所

「第46回おきぎん企業動向調査」  
(2011年10～12月期) 調査結果

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、ご遠慮なく下記までご連絡ください。

・担当：木村

問い合わせ先：(電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200)

現場主義とお客さまからの信頼

県内(地域・業種別)の経営環境と業況感(2012年1～3月期見通し)  
 ～第46回おきぎん企業動向調査(2011年10～12月期)調査結果より～

I. はじめに

1. 調査の結果

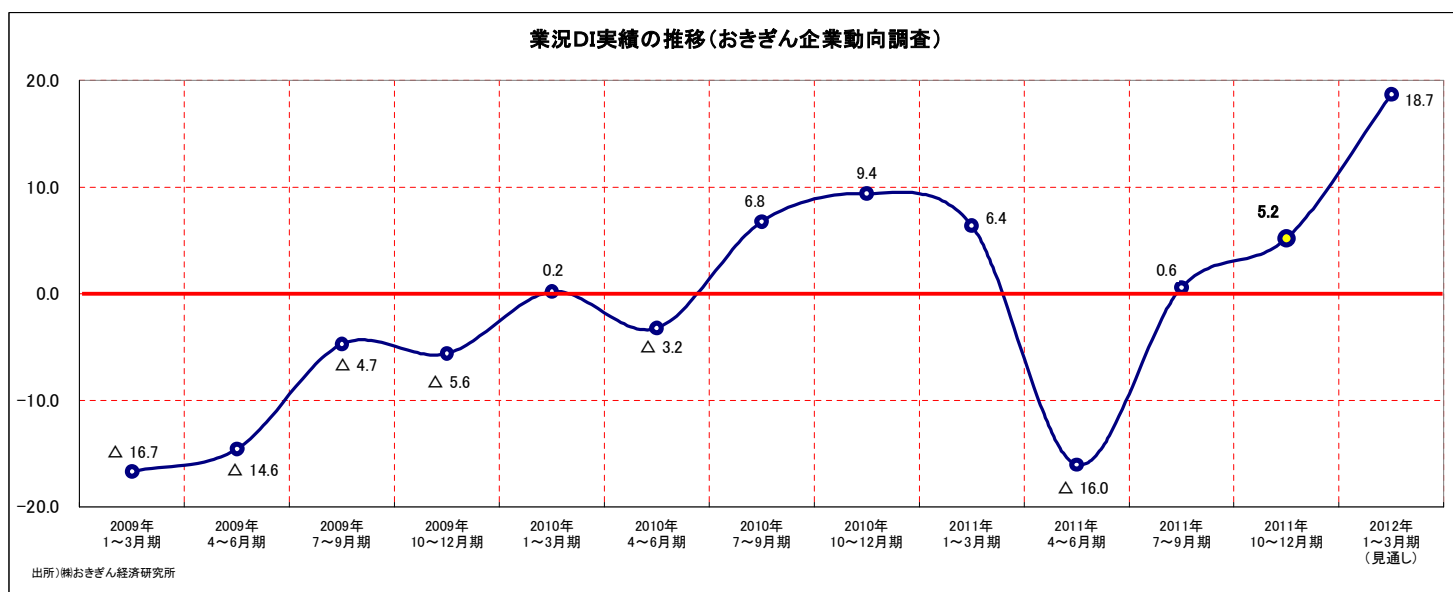
業況DIの推移

期間・結果	2010年		2011年				2012年
	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期(見通し)	
項目	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前期比DI	
<b>全業種計</b>	<b>9.4</b>	<b>6.4</b>	<b>△ 16.0</b>	<b>0.6</b>	<b>5.2</b>	<b>18.7</b>	
製造業	△ 9.3	△ 8.9	△ 32.1	△ 37.3	△ 2.0	12.0	
土木業	△ 11.8	△ 6.5	△ 10.0	△ 5.6	0.0	32.0	
建築業	6.6	17.4	△ 9.1	14.5	14.7	26.7	
卸売業	△ 3.3	△ 8.0	△ 27.0	△ 6.1	△ 2.2	23.3	
小売業	18.2	0.0	△ 13.7	10.7	7.9	14.7	
情報通信サービス業	33.3	38.5	22.2	8.3	37.5	42.9	
医療・福祉	20.0	16.1	22.2	25.0	29.6	11.1	
その他サービス業(宿泊・飲食等)	35.7	11.4	△ 48.6	0.0	5.9	8.8	
その他(不動産・運輸等)	18.4	19.4	△ 3.8	4.6	△ 3.9	14.3	

2011年10～12月期調査の業況DIは5.2(前年同期比)となりました。

業種別でみると、【建築業】、【小売業】、【情報通信サービス業】、【医療・福祉】、【その他サービス業】で「業況改善の動き」がみられます。一方、【製造業】、【卸売業】、【その他】において「業況の弱さ」がみられます。

2012年1～3月期の業況見通しDIについては18.7となり、全業種において「業況改善の動き」が見込まれています。



**2. 調査の概要:** 本調査は各企業の業況や売上高、売上・仕入単価、収益面等の経営状況項目について、主に経営者の判断(当期実績、次期見通し)をDI(景気動向指数)として取りまとめたものです。

- a. 調査時期: 2011年11月下旬～12月上旬  
 b. 調査対象: 県内企業 466社  
 c. 調査内容: ①業況 ②売上高 ③売上単価 ④仕入単価 ⑤採算 ⑥引き合い(受注)  
 ⑦雇用 ⑧IT関連投資 ⑨その他の投資(IT以外への投資)

**—おきぎんDIについて—**

主に企業経営者の業況などに関する実績判断や見通しを「好転・上昇・増加」、「不変(変わらない)」、「悪化・低下・減少」のいずれかでお答えいただき、それらの割合を表したものです(本レポートでは方向性を示すため「悪化・低下・減少」はマイナス表示を用いています)。

①「好転・上昇・増加」+「不変(変わらない)」+「悪化・低下・減少」=100%

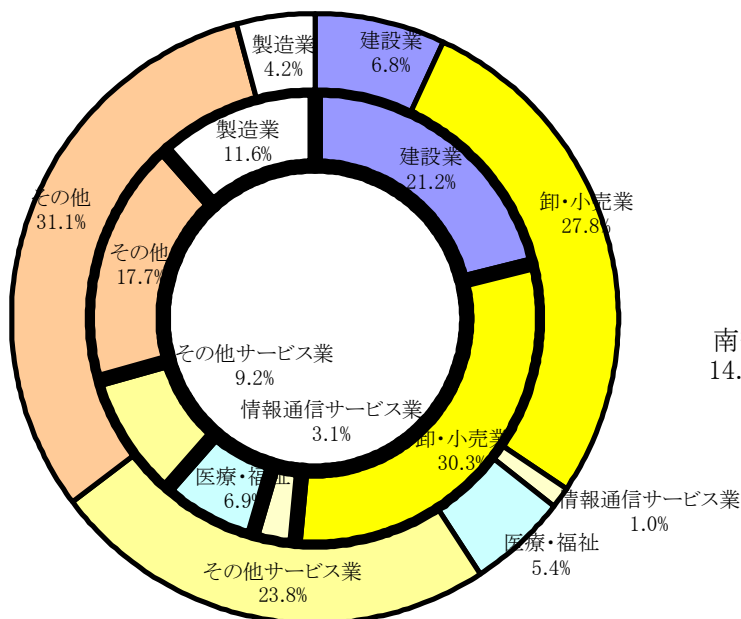
②DI=「好転・上昇・増加」の割合(%)－「悪化・低下・減少」の割合(%)

上記①、②から、DIがプラスなら景気が良い(または上昇見込み)、マイナスなら悪い(または下降見込み)といった具合にご覧いただけます。

**3. 調査対象企業の業種・所在地構成**

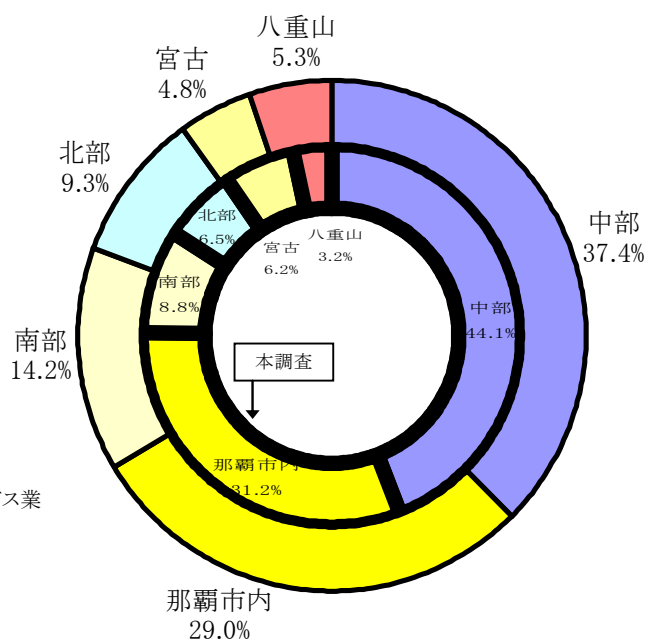
県内の産業別事業所数および事業所所在地構成(2006年事業所・企業統計調査)と比較すると、本調査はその他サービス業(宿泊、飲食等)及びその他(不動産、運輸等)が少なく、製造業、建設業(本調査では土木業・建築業)、卸・小売業が多いサンプリングになっています。なお所在地は、中部、那覇市内で7割を超えるシェアとなっています。

県内の産業別事業所数の構成(外円)、  
本調査の回答事業所数の業種構成(内円)



資料)総務省、当行

県内の事業所所在地構成(外円)、  
本調査の事業所所在地構成(内円)



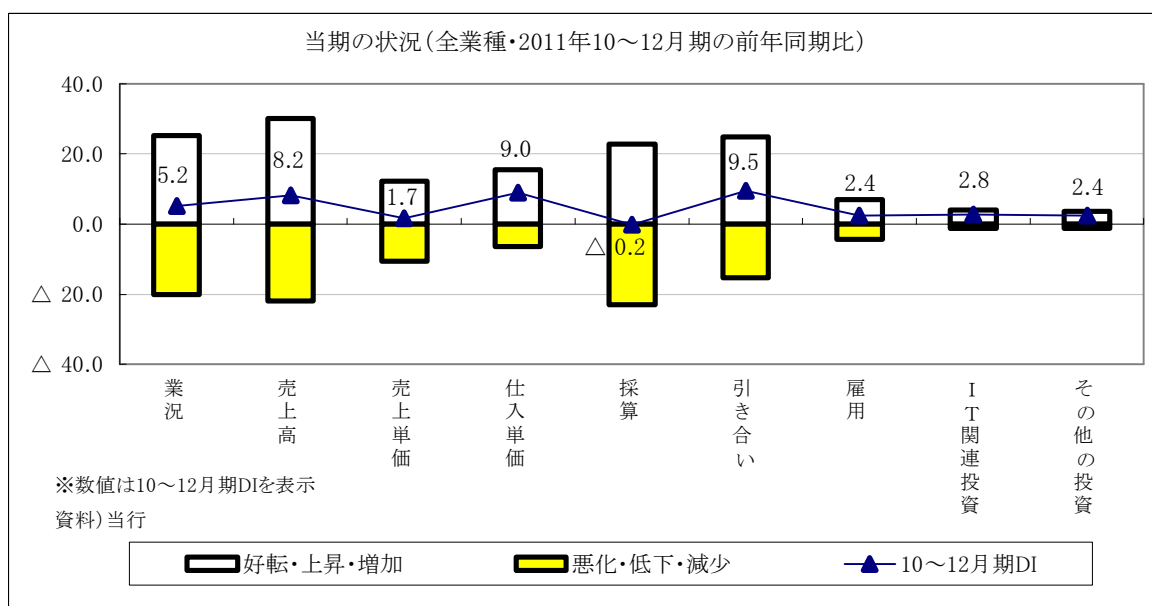
資料)総務省、当行

## II. 調査結果(1) ～おきぎんDI: 県内の経営環境と業況感について～

### 1. 全業種

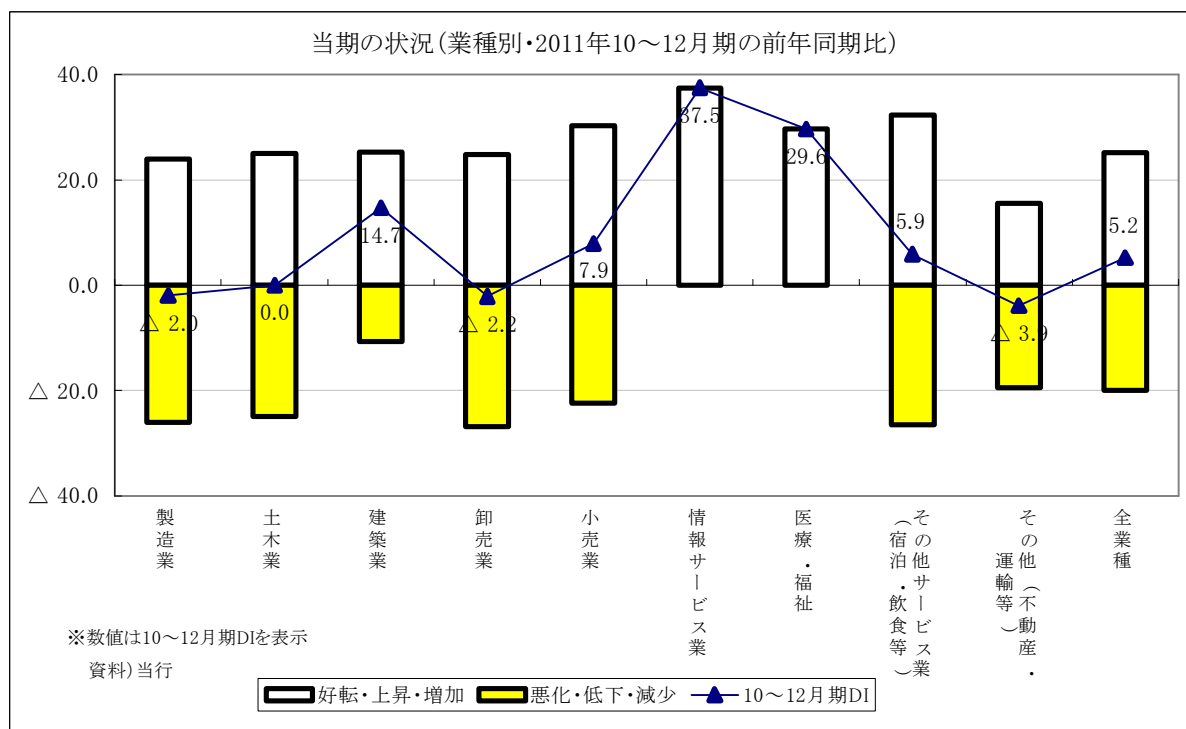
#### a. ①当期の状況(項目別・2011年10～12月期の前年同期比)

当期の業況DIを項目別で見ると、一部震災の影響が続き、仕入単価(9.0)は依然として上昇していますが、修学旅行を含む団体客の増加や民間工事の増加などにより、売上高(8.2)、引き合い(9.5)などが好転し、全体の業況(5.2)は改善の動きがみられます。



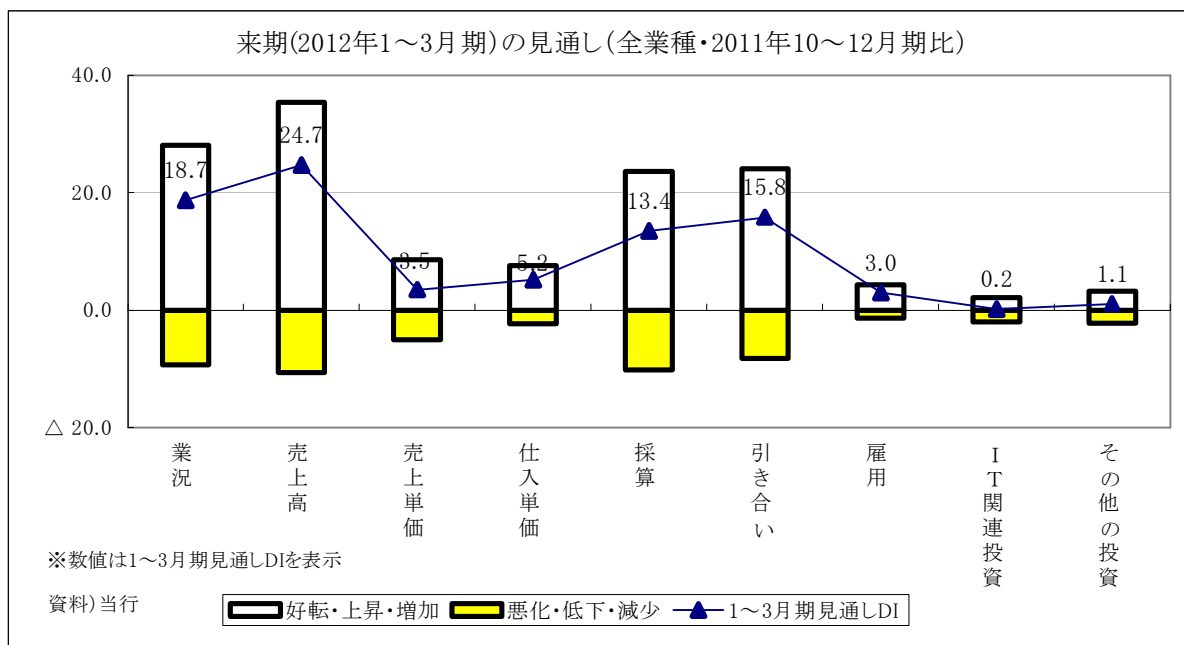
#### a. ②当期の状況(業種別・2011年10～12月期の前年同期比)

当期の状況を業種別で見ると、【製造業】(△2.0)、【卸売業】(△2.2)、【その他】(△3.9)は厳しい業況が続いています。一方、【建築業】(14.7)、【小売業】(7.9)、【その他サービス業】(5.9)は業況の改善動きがみられ、【情報サービス業】(37.5)や【医療・福祉】(29.6)は堅調な業況を示しています。



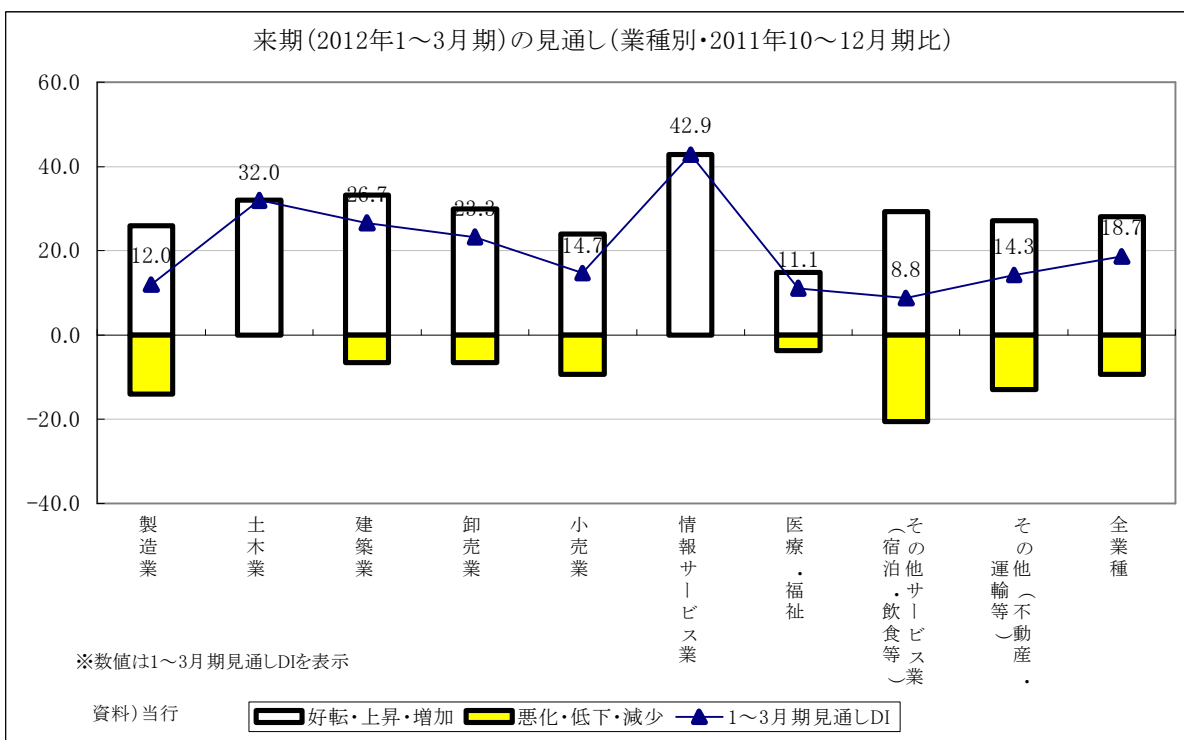
b.①来期の見通し(項目別・2012年1～3月期の2011年10～12月期比)

来期(2012年1～3月期)の見通しDIを項目別でみると、年度末に向けての建設工事や季節的要因(年度末、イベント需要など)による増加が期待され、売上高(24.7)をはじめ、採算(13.4)、引き合い(15.8)など全ての項目がプラスとなり、全体(業況:18.7)として業況改善の動きが見込まれます。



b.②来期の見通し(業種別・2012年1～3月期の2011年10～12月期比)

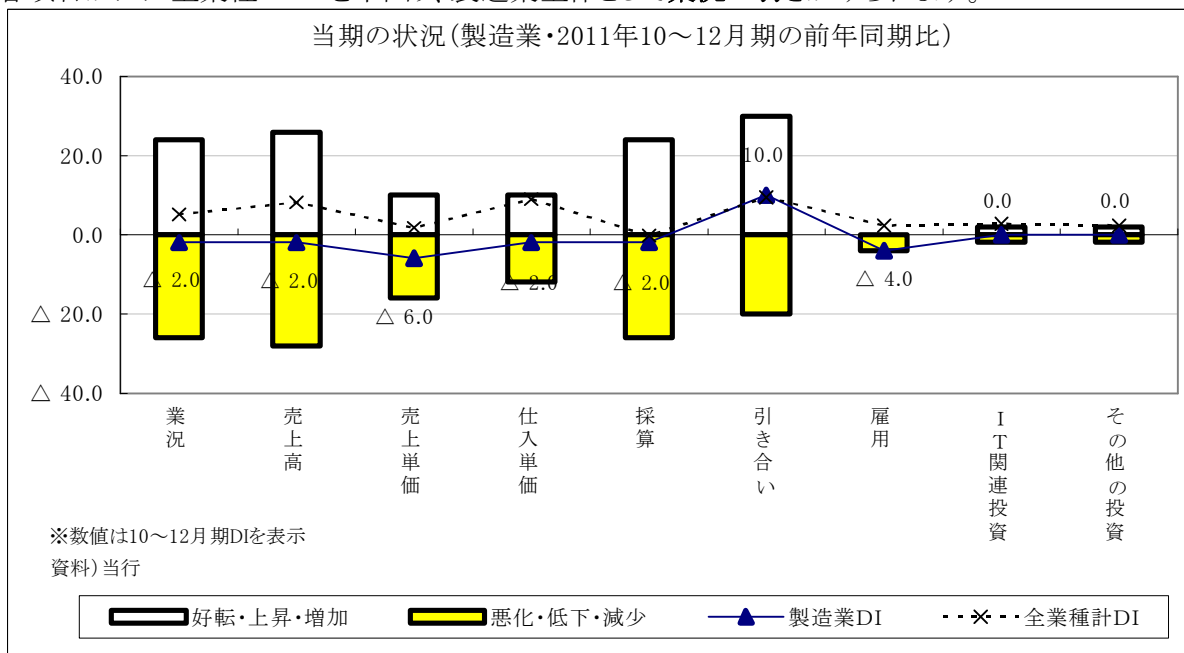
来期(2012年1～3月期)の見通しDIを業種別でみると、年度末向けの公共工事の発注増加による【土木業】、【建築業】の好転が期待され、プロ野球キャンプなど観光関連の需要で【製造業】、【卸・小売業】、【その他サービス業】が持ち直し、全体として業況改善の動きが見込まれます。



## 2. 製造業

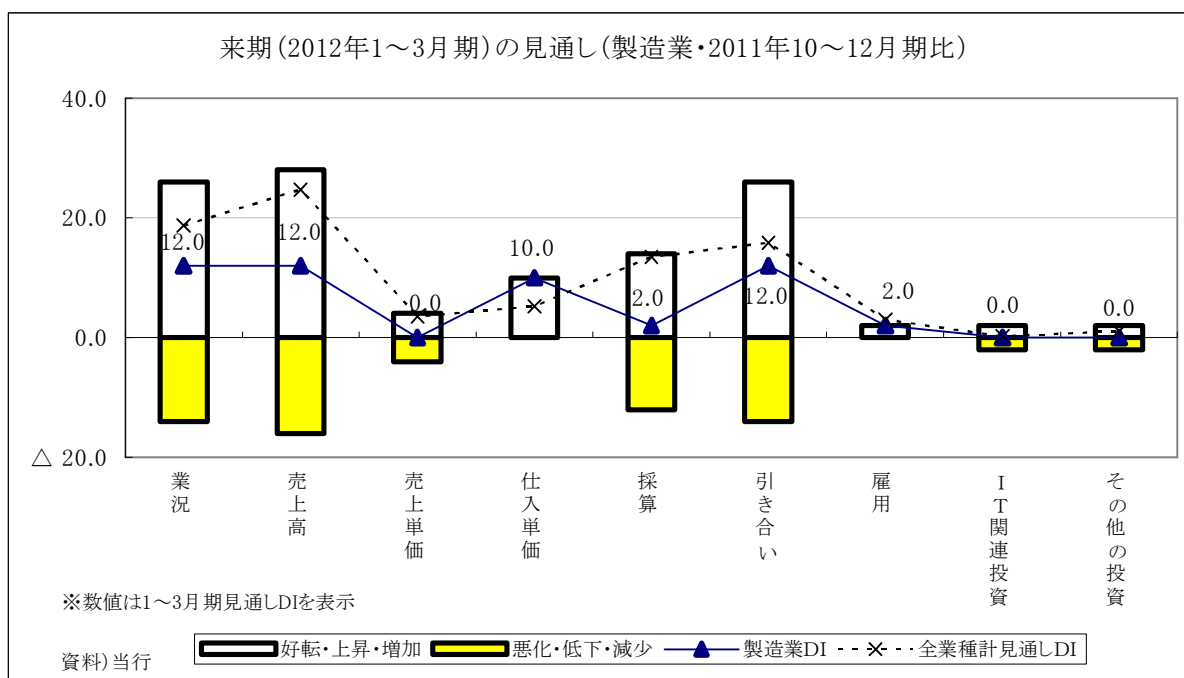
### a. 当期の状況 (2011年10～12月期の前年同期比)

【製造業】DI をみると、震災による原材料などの品薄状態が続き、公共工事の発注遅れ、県内外の同業他社との競合により売上単価(△6.0)が低下しています。売上高(△2.0)、採算(△2.0)など各項目がほぼ全業種のDIを下回り、製造業全体として**業況の弱さ**がみられます。



### b. 来期の見通し(2012年1～3月期の2011年10～12月期比)

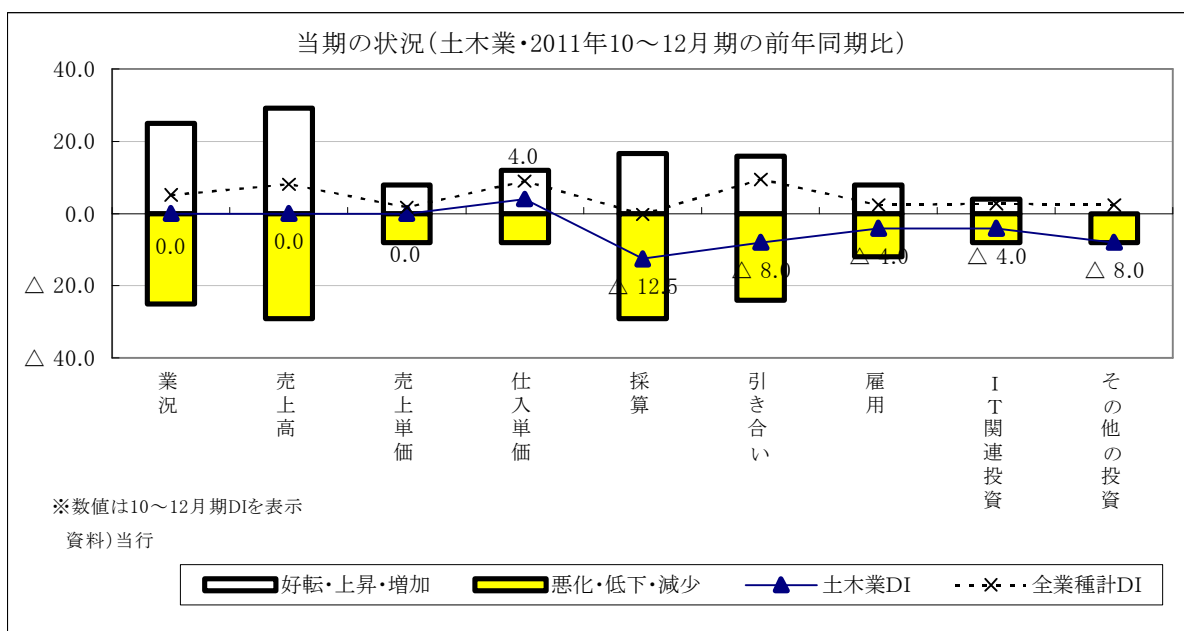
来期の見通し製造業DIをみると、年始・年度末(冬場向けの商品やイベント商品など)などの需要が期待され、業況が好転し、売上高や引き合いの増加も期待されています。建設資材関連においても年度末工事発注が増加する時期であり、製造業全体として**業況改善の動き**がみられます。



### 3. 土木業

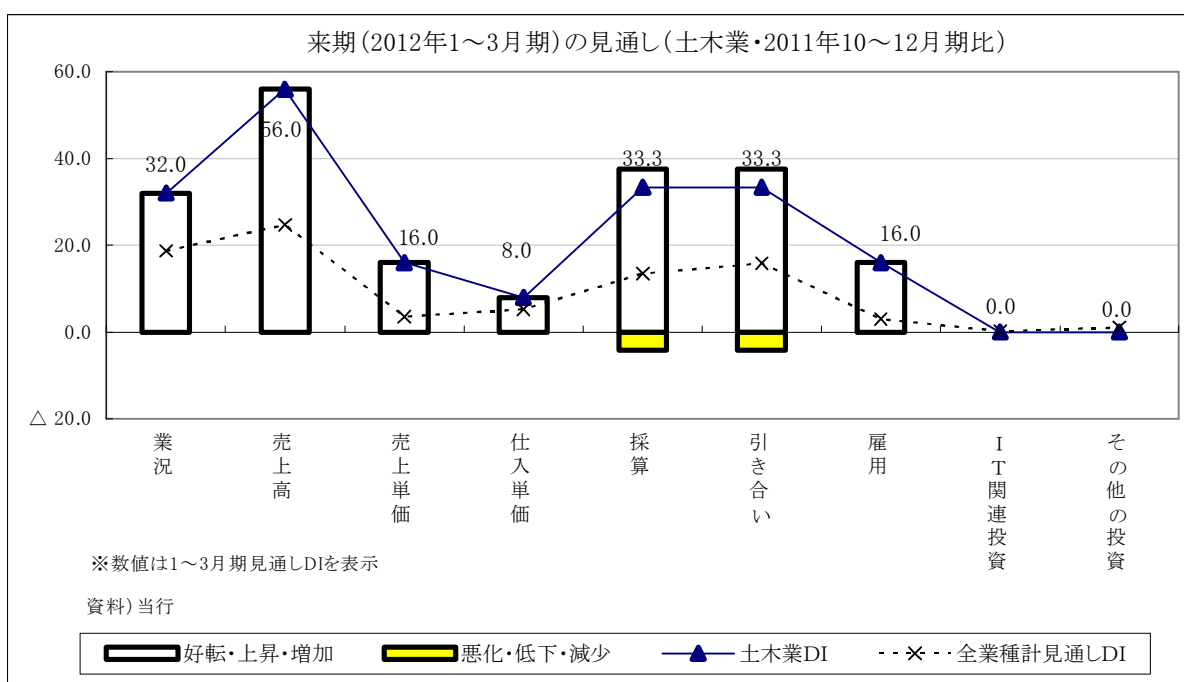
#### a. 当期の状況 (2011年10～12月期の前年同期比)

【土木業】DIをみると、公共工事の受注環境は年々厳しさが増す中、同業他社との競争が激化し、工事発注遅れの影響もあり、引続き厳しい状況にあります。民間工事の営業強化や公共工事の積算能力の向上などが今後の課題として挙げられ、各項目がほぼ全業種のDIを下回り、土木業全体として業況の弱さがみられます。



#### b. 来期の見通し (2012年1～3月期の2011年10～12月期比)

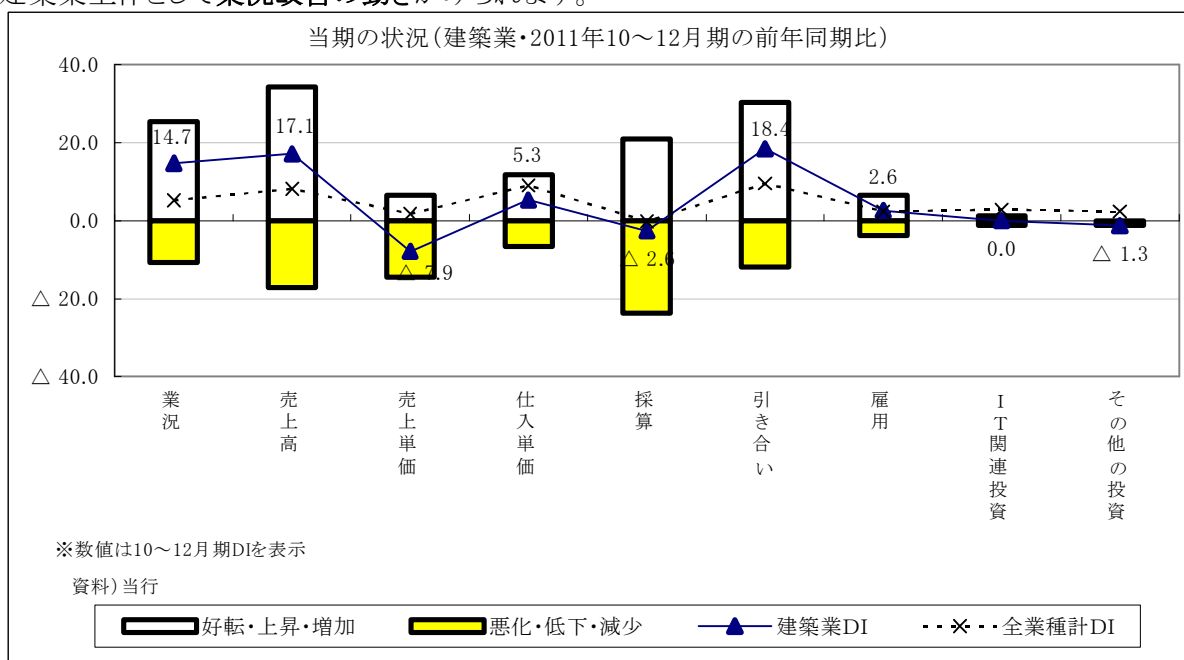
来期の見通し【土木業】DIをみると、年度末に向けて公共工事の需要が増加する時期となり、売上高をはじめ、採算、引き合いの増加が大きく期待されます。繰り越し工事や駆け込み発注工事の増加を見込んで、土木業全体として業況改善の動きがみられます。



#### 4. 建築業

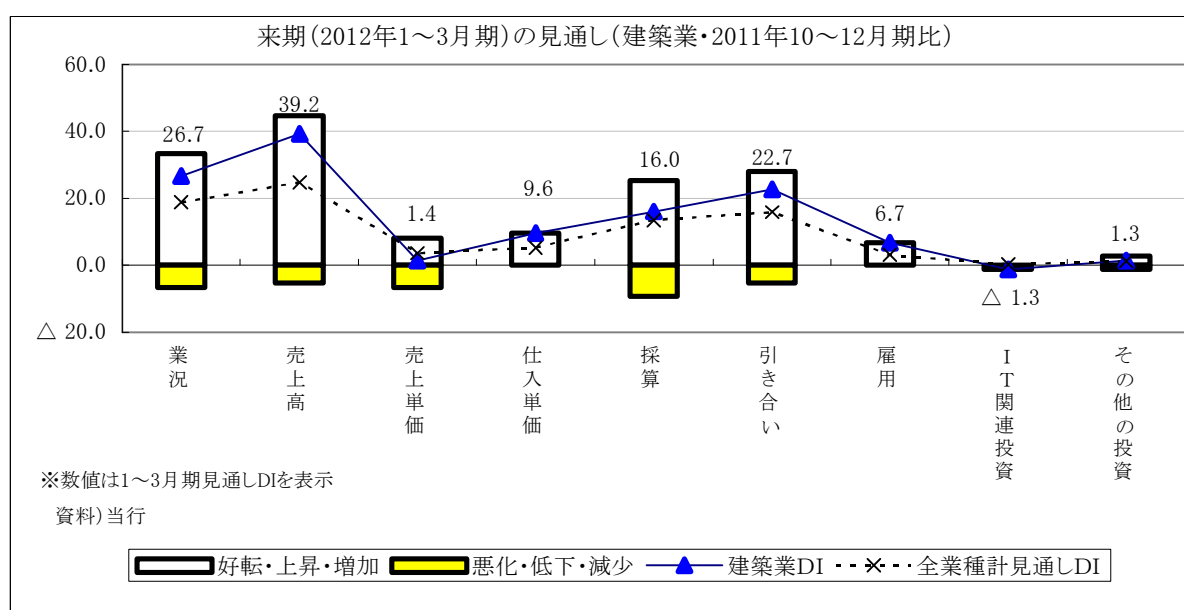
##### a. 当期の状況 (2011年10～12月期の前年同期比)

【建築業】DI をみると、一部台風による復旧工事に加え、個人住宅や民間工事の増加による引き合いが増えています。一方、工事案件獲得による競争が激化し、震災影響による品薄で仕入単価が上昇し、売上単価や採算は厳しい状況にあります。売上高や引き合いなどは全業種のDIを上回り、建築業全体として**業況改善の動き**がみられます。



##### b. 来期の見通し (2012年1～3月期の2011年10～12月期比)

来期の見通し【建築業】DI をみると、土木業同様に年度末の公共工事増加や繰り越し工事が期待されます。また、営業強化によるマンションやアパートなど民間工事の需要も増加しています。資材在庫の調整による採算増加を図るなど、建築業全体として**業況改善の動き**がみられます。

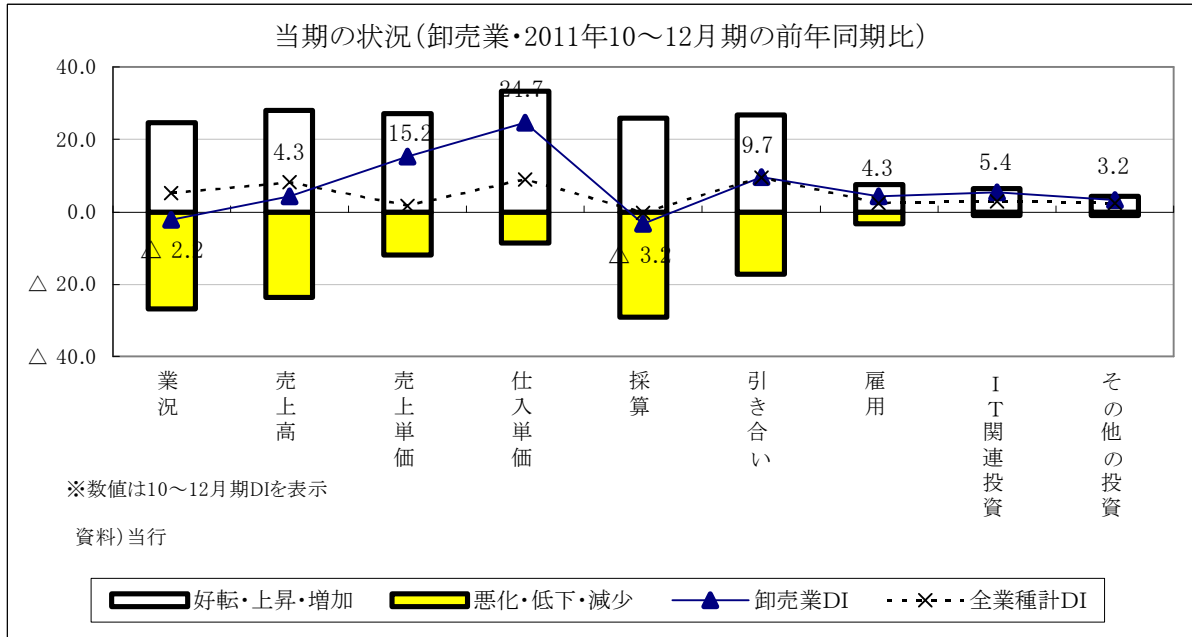




## 5. 卸売業

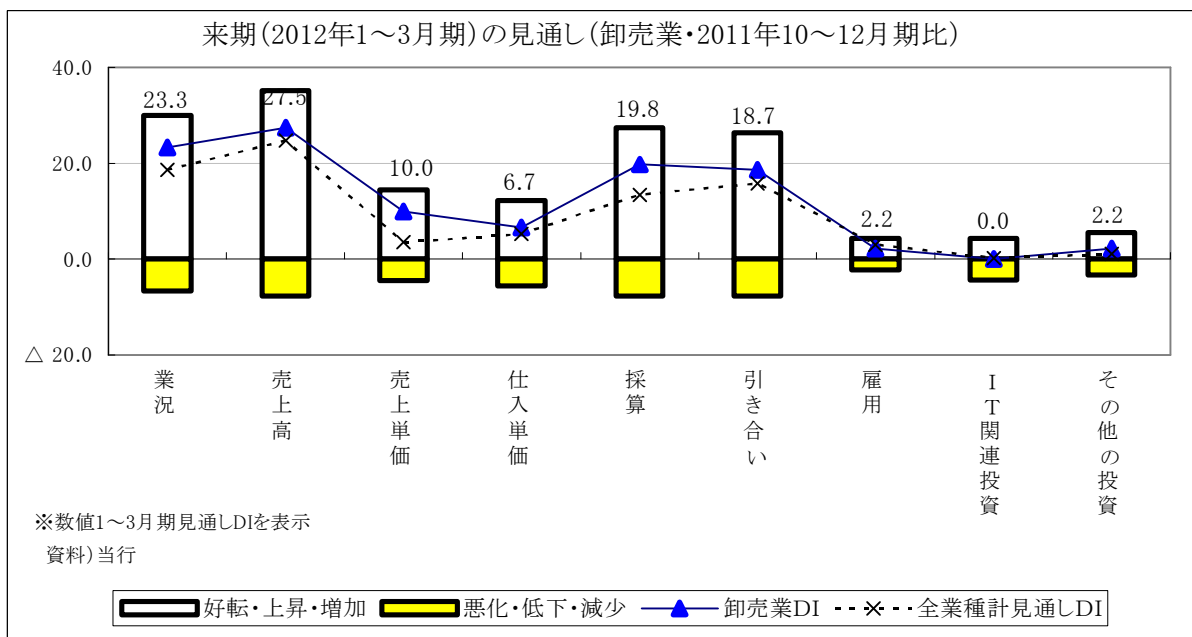
### a. 当期の状況 (2011年10～12月期の前年同期比)

【卸売業】DIをみると、原発・放射能問題による商品品薄の影響に加え、台風による農産物が不作で、仕入単価が上昇しています。震災の影響は鎮静化しつつも、回復までには至らず、仕入単価の上昇などにより、採算が減少し、卸売業全体として**業況の弱さ**がみられます。



### b. 来期の見通し (2012年1～3月期の2011年10～12月期比)

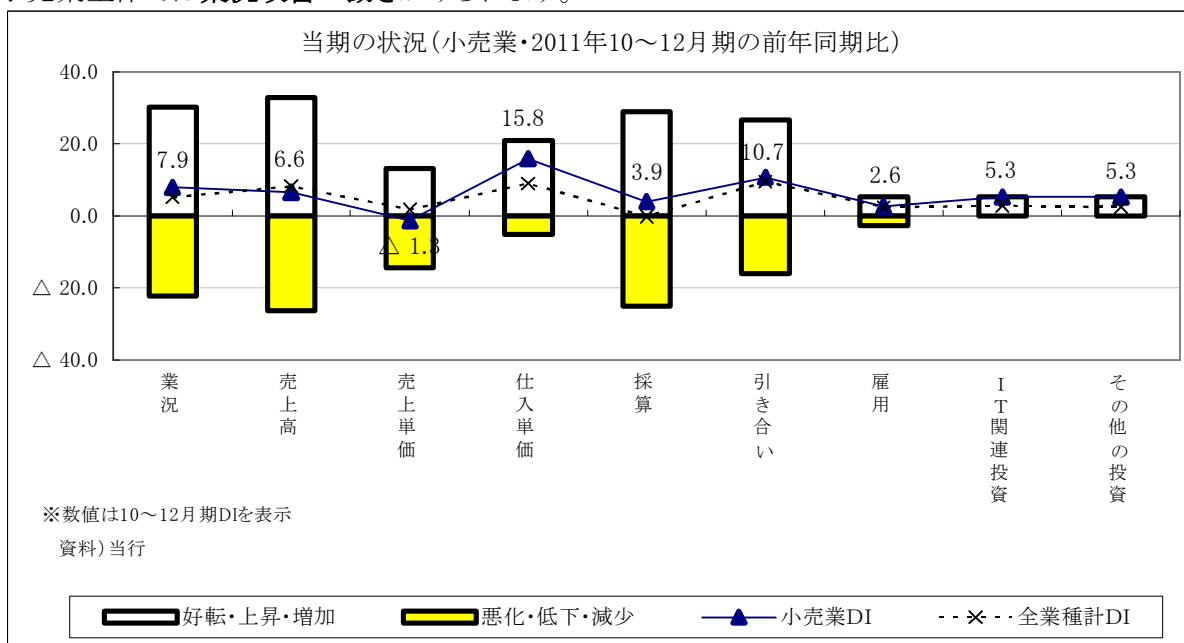
来期の見通し【卸売業】DIをみると、年度末の公共・民間建設の需要に伴う資材の増加、冬場向けの食料品需要の増加などが期待されます。また、震災特需(食品関連の県外出荷)による増加も期待して、卸売業全体としては**業況改善の動き**がみられます。



## 6. 小売業

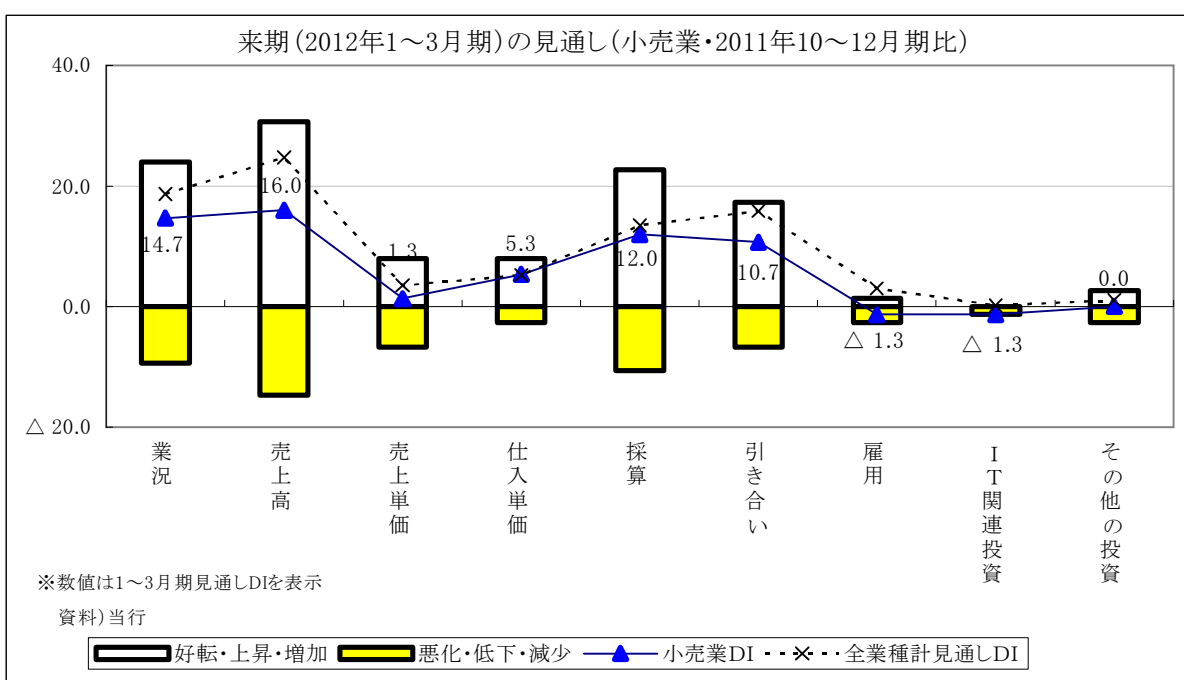
### a. 当期の状況 (2011年10～12月期の前年同期比)

【小売業】DIをみると、修学旅行を含む団体客の増加、震災による県外移出の増加(植物の種や苗など)、原油価格高止まりによる売上増加などがみられます。震災の影響で生じた品薄や仕入単価の上昇に対して、在庫調整やコストの削減などで対応し、採算や引き合いが全業種DIを上回り、小売業全体では業況改善の動きがみられます。



### b. 来期の見通し (2012年1～3月期の2011年10～12月期比)

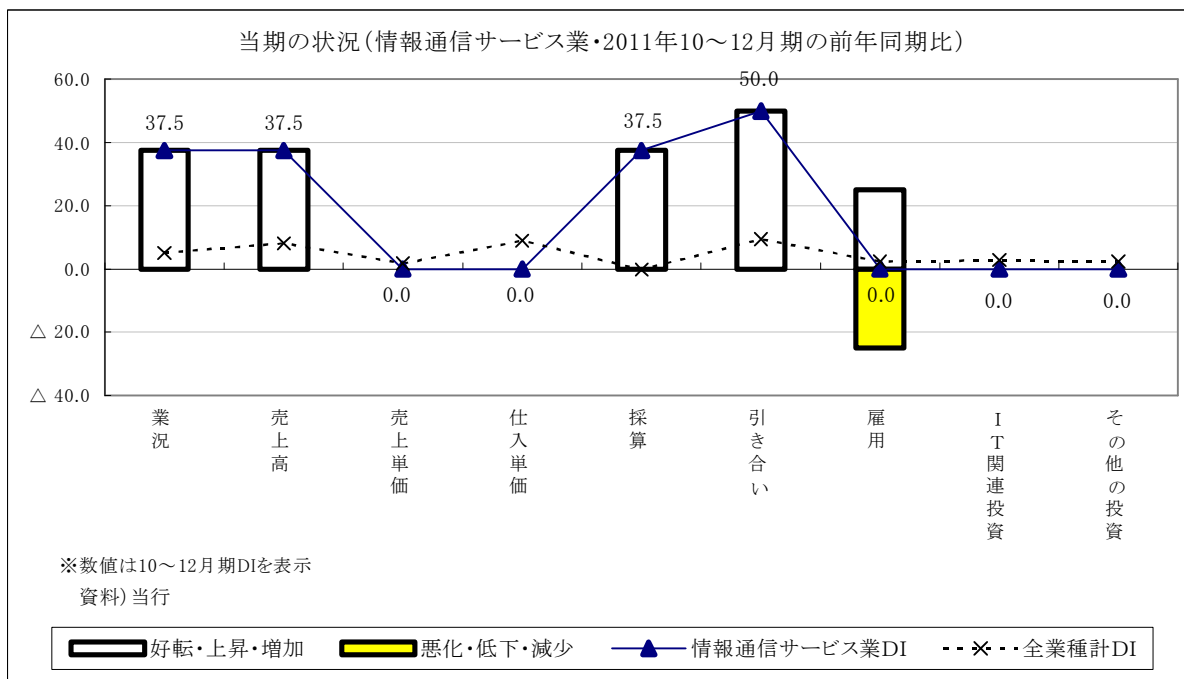
来期の見通し【小売業】DIをみると、観光のオフシーズンによる入城客の減少など懸念されますが、プロ野球などスポーツ関連キャンプ需要やイベントシーズン(年度末向けのフェアなど)による販売増加などが期待されています。前期に引続き小売業全体では業況改善の動きがみられます。



## 7. 情報通信サービス業

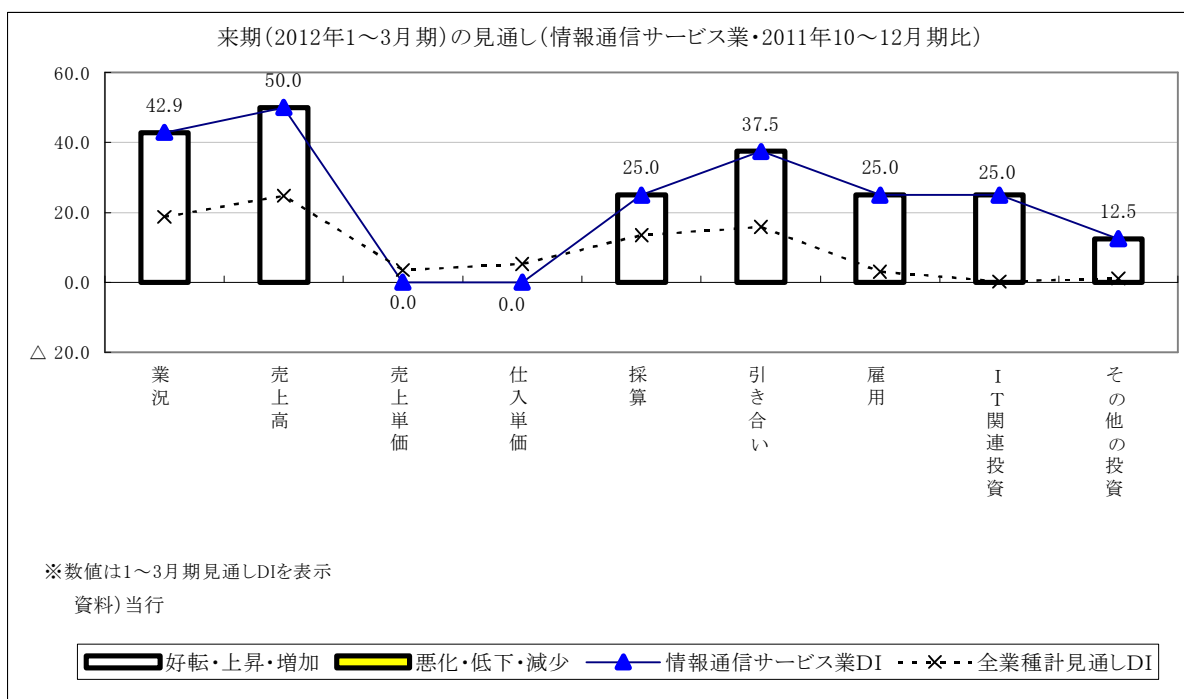
### a. 当期の状況 (2011年10～12月期の前年同期比)

【情報通信サービス業】DIをみると、引き続き震災対策による市町村・学校など防災関連システム導入の引き合いが増加しています。一方、業界の競争激化により、雇用や投資は控える動きが続いており、情報サービス業全体として**業況改善の動き**がみられます。



### b. 来期の見通し (2012年1～3月期の2011年10～12月期比)

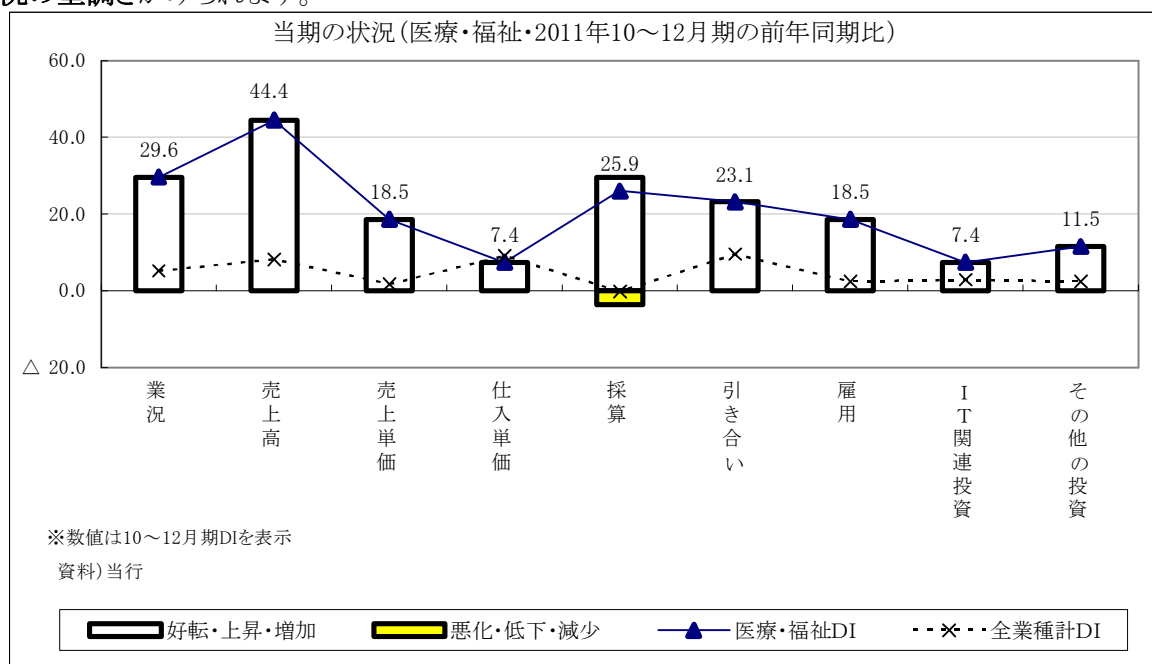
来期の見通し【情報通信サービス業】DIをみると、震災関連の情報システム受注の増加など、通信・放送・情報サービス業の回復が期待されます。また、年度末の需要増加を見込むなど、情報通信サービス業全体として**業況改善の動き**がみられます。



## 8. 医療・福祉

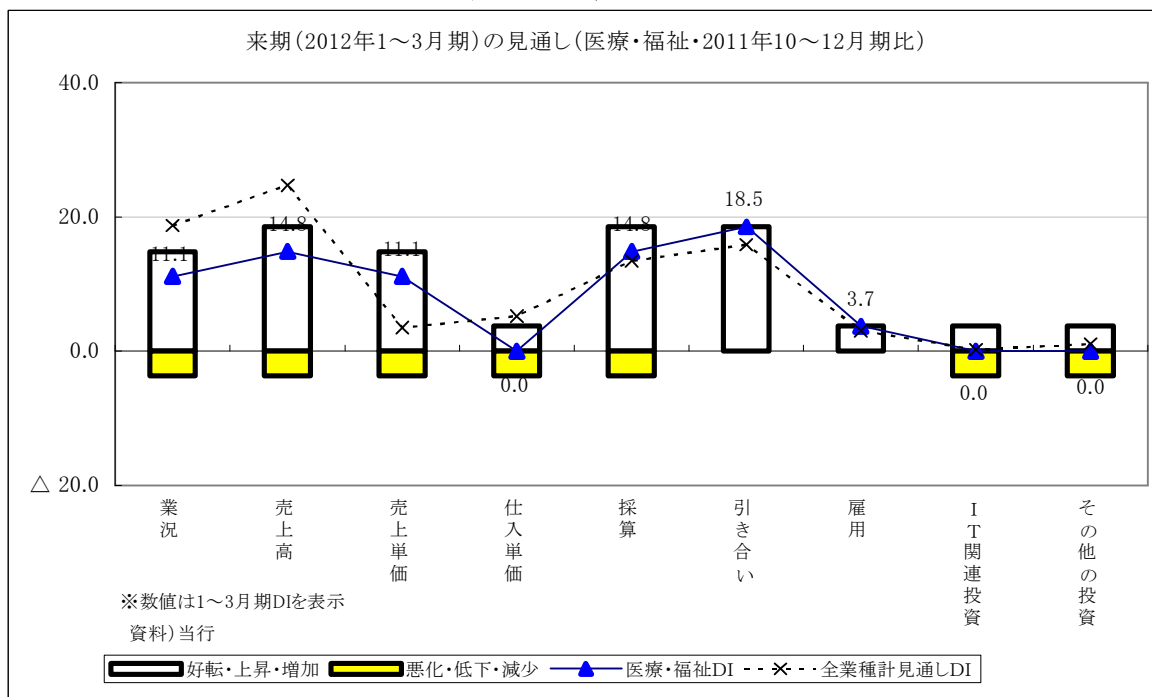
### a. 当期の状況 (2011年10～12月期の前年同期比)

【医療・福祉】DIをみると、医療施設の経営環境は引続き堅調に推移し、新設や増設する施設投資の動きが見られます。介護・医療施設やデイ케어などの運営による売上も増加しています。新・増設に伴う新規雇用の需要も高まり、各項目がほぼ全業種 DI を上回り、医療・福祉全体としては**業況の堅調さ**がみられます。



### b. 来期の見通し (2012年1～3月期の2011年10～12月期比)

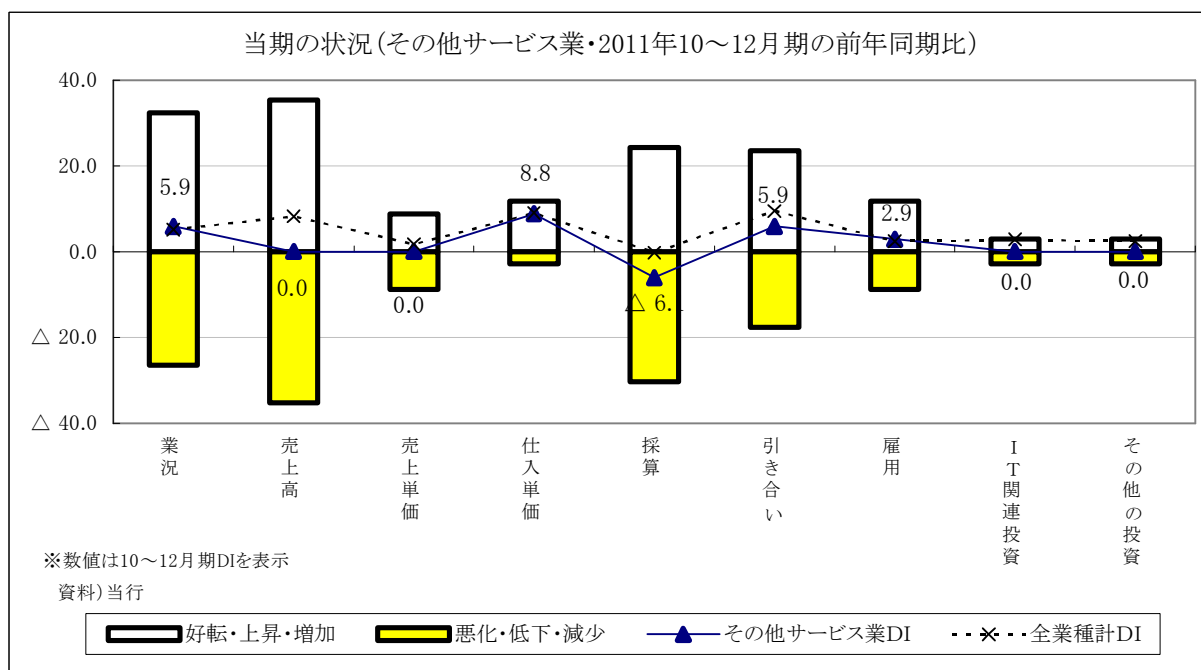
来期の見通し【医療・福祉】DIをみると、高齢者専用賃貸施設の新設や医療施設の増設などによる売上効果が期待されます。また、季節の変わり目による外来患者の増加や米軍関連の検診なども見込まれ、医療・福祉全体として引続き**業況の堅調さ**がみられます。



## 9. その他サービス業(宿泊、飲食、ゴルフ場、遊戯場、映画館、結婚式場、教育関連等)

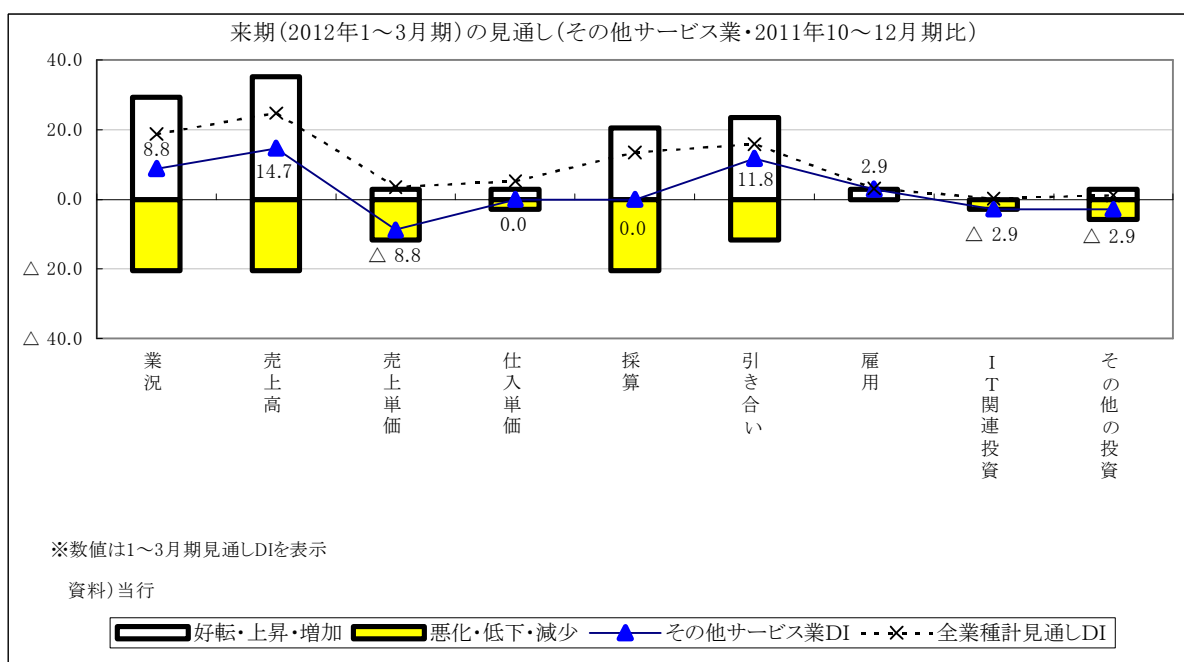
### a. 当期の状況(2011年10~12月期の前年同期比)

【その他サービス業】DIをみると、修学旅行など団体客の増加や結婚披露宴など利用客の囲い込み効果(二次会利用など)があったものの、昨年の美ら島総体の反動減や震災の影響による客単価の値下げなどがみられます。売上高や売上単価などは前年と変わらず、その他サービス業全体としては業況改善の動きがみられます。



### b. 来期の見通し(2012年1~3月期の2011年10~12月期比)

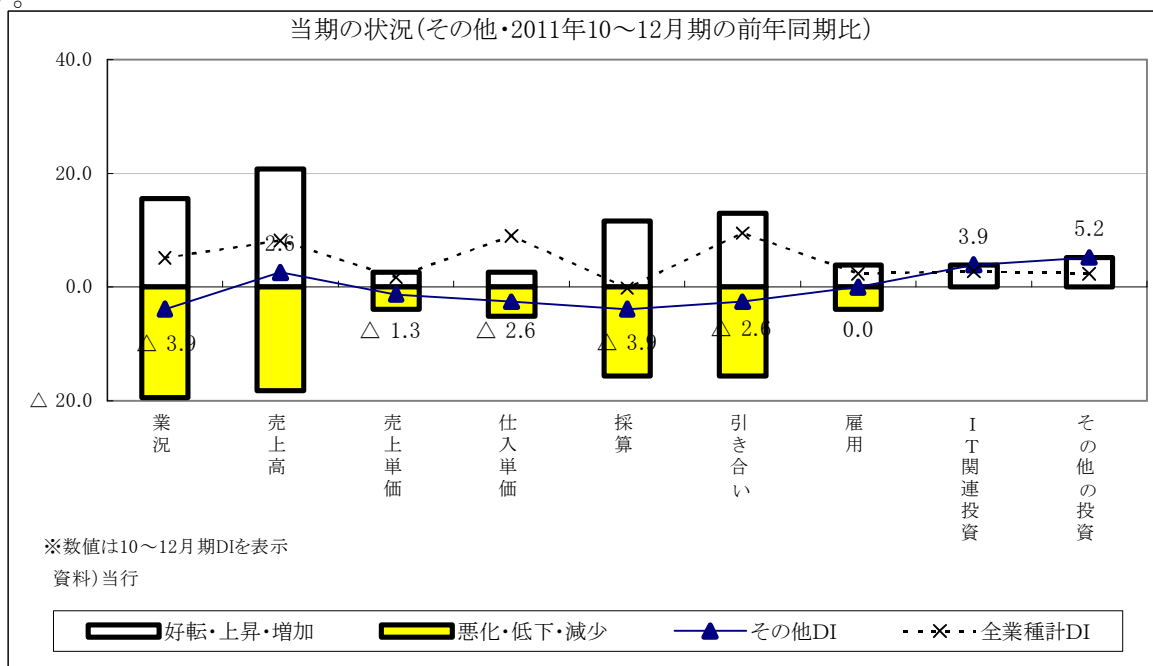
来期の見通し【その他サービス業】DIをみると、観光のオフシーズンによる入域減などが懸念され、当面設備投資の動きもなく、各項目は全業種DIを下回っています。一方、プロ野球キャンプの効果や年始など時期的な需要が期待され、その他サービス業全体として業況改善の動きがみられます。



## 10.その他(不動産、運輸、測量・設計コンサル等)

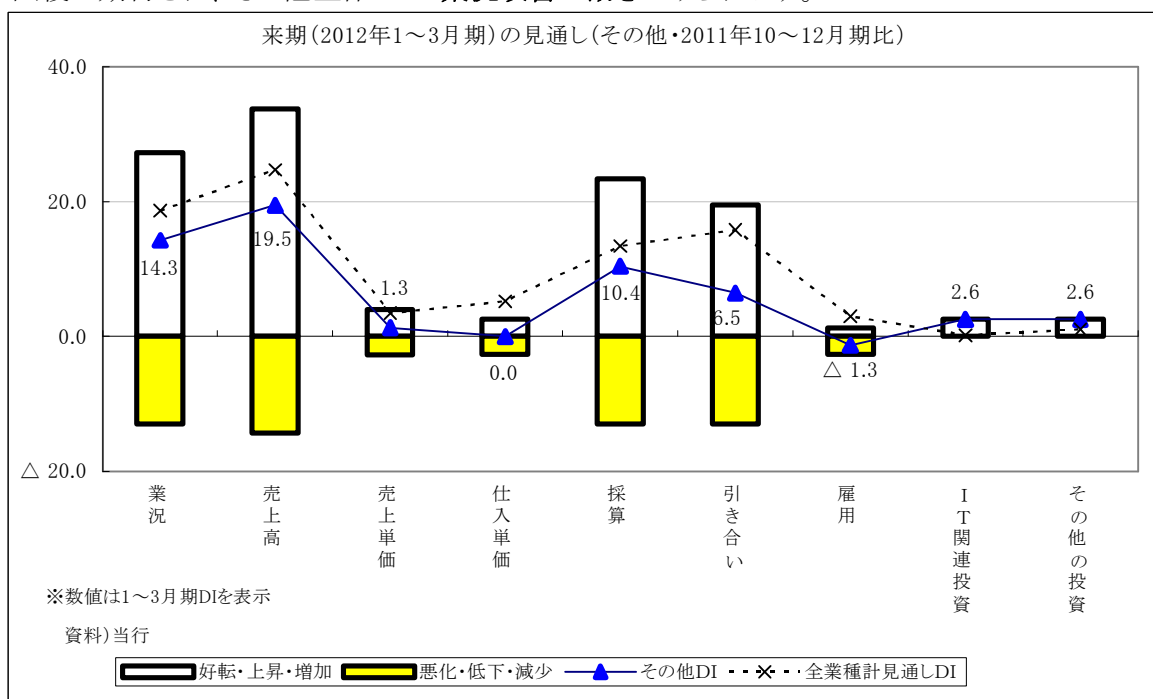
### a.当期の状況(2011年10~12月期の前年同期比)

【その他】DIをみると、公共工事の減少に伴う運輸需要の低迷(運送業)、震災による県外からのリース機器の納品遅れなどがみられます。また、同業他社との競争激化、天候不順による流通商品(農産物卸)が減少し、各項目はほぼ全業種DIを下回り、その他全体としては**業況の弱さ**がみられます。



### b.来期の見通し(2012年1~3月期の2011年10~12月期比)

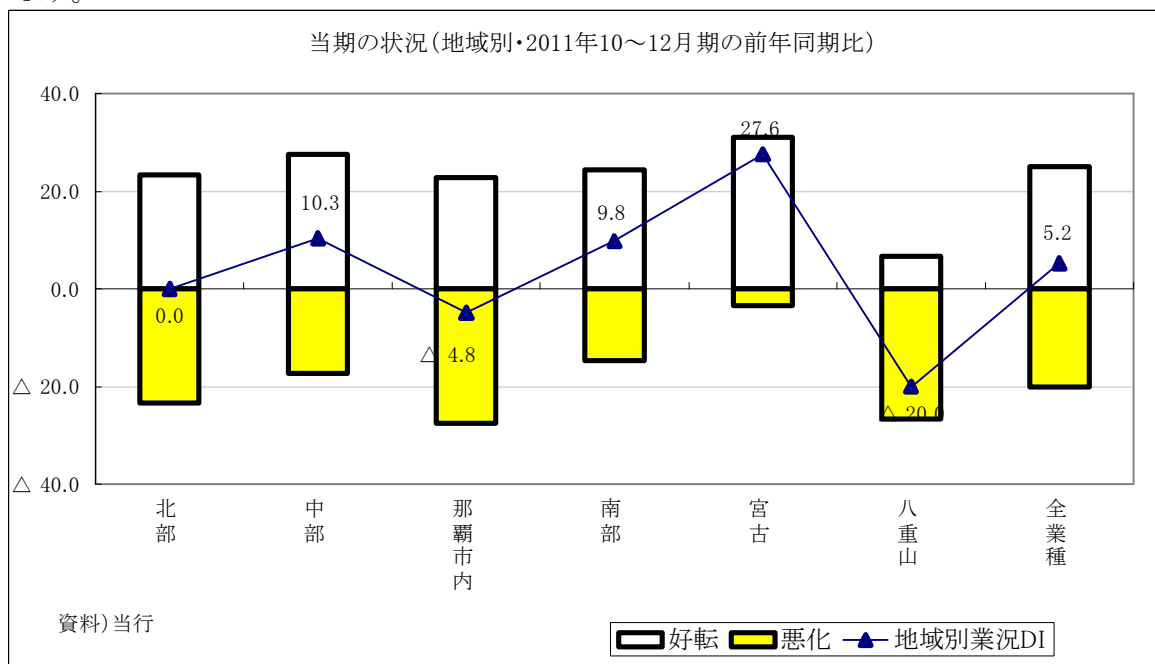
来期の見通し【その他】DIをみると、公共・民間年度末工事の駆け込みに伴う資材物流の増加、異動・進学に伴う需要の増加(不動産、運輸業など)が見込まれます。引続き震災の復興による取引の回復が期待され、その他全体として**業況改善の動き**がみられます。



### Ⅲ. 調査結果(2) ～地域別の業況DI～

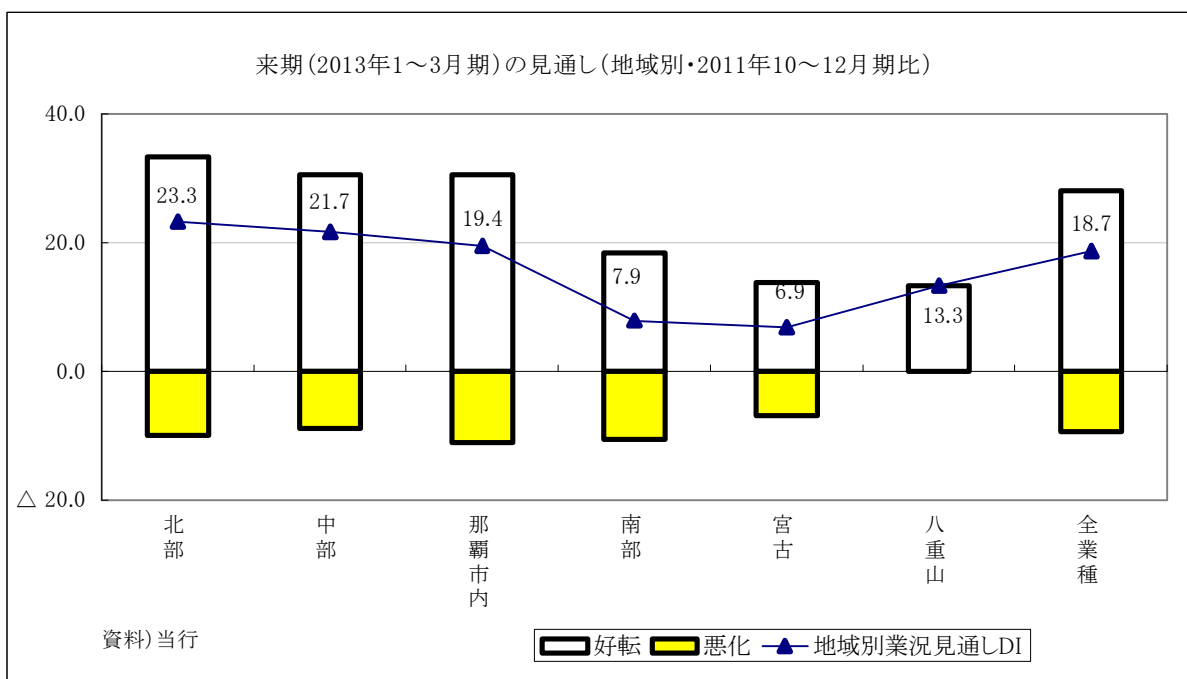
#### 1. 当期の状況(2011年10～12月期の前年同期比)

地域別業況DIをみると、八重山は公共工事を中心とした建設需要低下の影響で悪化し、那覇市内では、天候(雨天、高温など)による影響で悪化しました。一方、中・南部は観光客の増加や医療・介護などの需要増加により改善がみられ、宮古では、建築と観光関連のけん引で改善の動きがみられます。



#### 2. 来期の見通し(2012年1～3月期の2011年10～12月期比)

来期の業況見通しDIをみると、年度末における公共工事の駆け込み需要や季節的要因など、全業種DIは好転が見込まれ(18.7)、全地域で業況改善の動きがみられます。特に北部においては、公共工事などの需要増加に高い期待を寄せています。



#### IV.まとめ

##### 【当期業況DI】

- ① 当期（2011年10～12月期）の業況DI調査の結果は5.2と、震災の鎮静化や年末需要に加え、修学旅行を含む入域観光客数の回復などによりプラスへととなりました。
- ② 観光関連産業は、修学旅行を含む団体客などが増え、観光客入域客数が10月＝4.5%増、11月＝3.6%増（いずれも前年同月比）と順調に推移しており、改善の動きがみられました（約1年ぶりの前年越え）。
- ③ 建設関連では、公共工事の発注は年々減少することに加え、工事発注の遅れなどにより、製造業、土木業、卸売業などは業況の弱さがみられました。
- ④ また、一部において震災の影響がまだ続いており、商品や部品の品薄状態、原料調達価格の上昇などにより、物流、建設などの業種では採算の悪化がみられました。
- ⑤ 一方、前年を上回る入域観光客や震災の特需（農産物など）により、小売業、その他サービス業（宿泊、飲食など）、農産物卸売業などの改善がみられ、医療・福祉関連も需要が続き順調に推移しています。
- ⑥ 総じて、2011年10～12月期は改善の動きがみられる業況となりました。

##### 【来期の見通しDI】

- ① 来期（2012年1～3月期）の見通しDIについては、18.7ポイントとなりました。当期（2011年10～12月期）より改善されることが期待されています。
- ② 観光関連では、オフシーズンに突入することが懸念される一方で、プロ野球キャンプなどによる効果が期待されています。
- ③ 建設関連においても、資材価格の値上りは引続き影響しますが、年度末に向けての駆け込み工事の発注増加が見込まれます。
- ④ また、年度末向けのイベントシーズンによる食料品需要や、季節的な介護・医療施設の利用者などの増加が期待されています。

